

いじめ根絶アピール文

私たちの周りから、「いじめ」という存在をなくしましょう。

現在、「いじめ」が社会問題になっています。近年では、SNSなどの発達により、複雑化、深刻化しています。

本校ではどうでしょうか。皆さんの周りで、苦しんでいる人はいませんか？多くの人が集まる場所では、何かしらのトラブルが、起こらないとは言い切れません。

では、何を「いじめ」と言うのでしょうか。文部科学省によると、【ある人が一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの】を「いじめ」と言うのだそうです。しかし、その感じ方は私たち1人1人で違ってきます。たかが「悪口」、そう思う人もいるでしょう。されど「悪口」、深く傷つき、心を閉ざしてしまう人もいます。同じ一言でも、笑って流せる人、笑うことさえできない人、笑っていても辛い思いをしている人、色んな人がいるのです。皆さんも、誰かのさりげない一言で傷ついたことはありませんか？そのように、無意識に人を傷つけることがあるのだということも、忘れてはいけません。

もし、相手が傷つくことを望んで、意識的に意地悪をしている人がいるのなら、考えてほしいことがあります。

その行動は、誰かのためになっていますか？人を傷つけることで得られるものは何なのでしょう。人を嘲って得た笑いは、人を幸せな気持ちにさせることはありません。逆に、周りの人を不快な気持ちにさせてしまいます。

また、当事者でないからといって、他人事だと思っははいけません。無関心であることが、「私には関係ないから」という態度が、いじめに苦しんでいる人にとっては何よりも冷たく、悲しいものを感じるからです。傍観することは、いじめることと同様、大きな罪になります。もし、自分がその立場になったのなら、どのような態度で接してほしいのか、どのような言葉をかけてほしいのか、よく考えて行動しましょう。

しかし、私たちは、あくまでも他人です。相手の気持ちを隅々まで読み取り、全てを理解することなどできません。だからこそ、相手を受け入れようとする心が必要なのです。

皆で笑い合える、「いじめ」のない平和な学校。単なる綺麗事でしょうか？頭で思いつくことは、実現可能だと言われています。あとはきっと、私たちが本気でいじめ根絶を願い、行動するだけです。

この八代東高校から、私たちの周りから、「いじめ」という存在をなくしましょう。

平成27年6月10日

生徒会長 坂口 茜